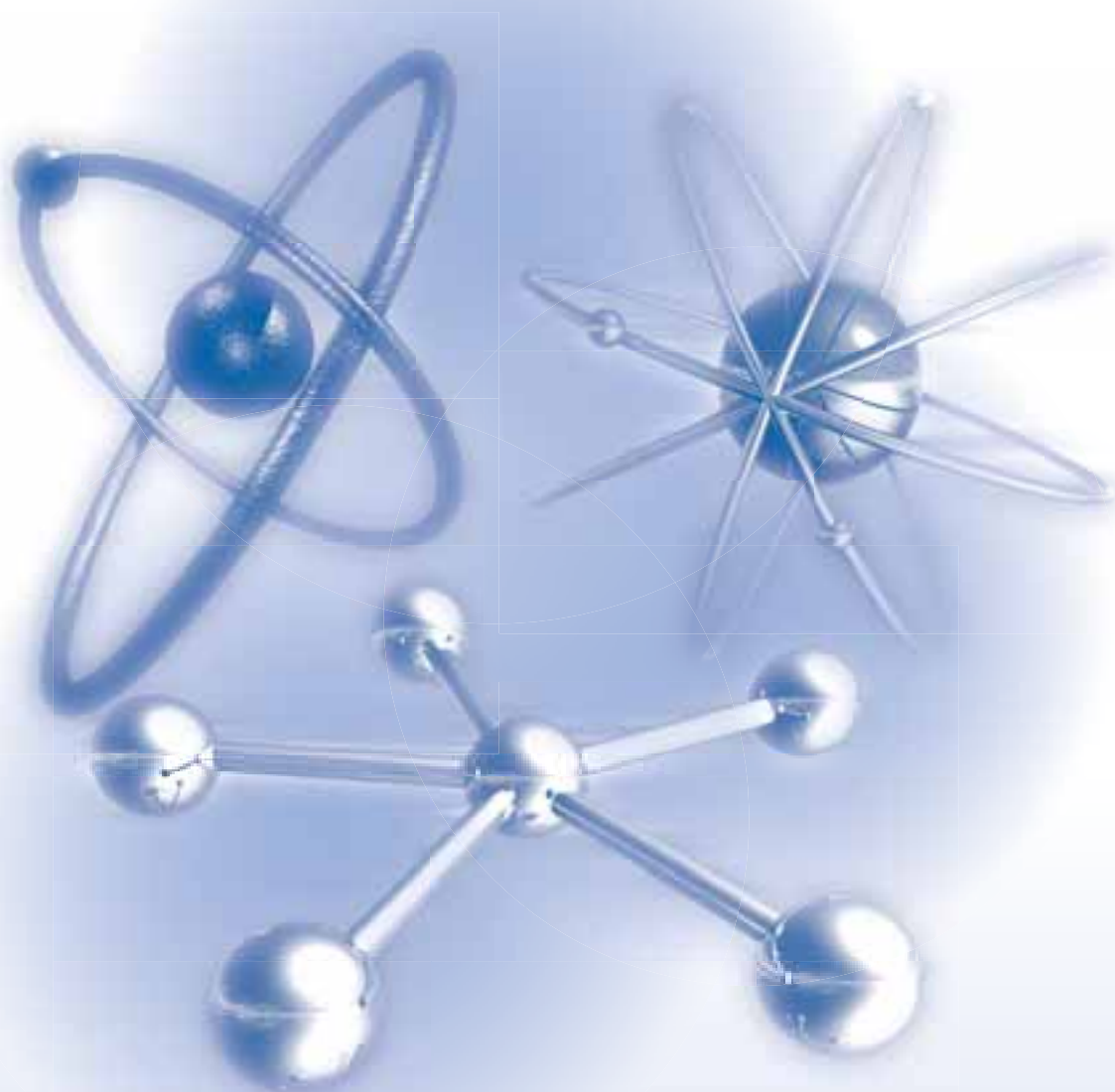
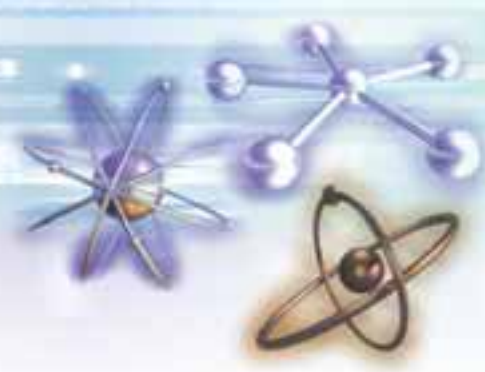


第4回産学官連携功労者表彰

受賞者のご紹介





産学官連携功労者表彰について

大学、公的研究機関、企業等の産学官連携活動において、大きな成果を収め、あるいは先導的な取組を行う等、産学官連携の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、その功績を称えることにより、我が国の産学官連携の更なる進展に寄与することを目的とし、平成15年度より毎年一回行われているもので、今回が第四回目となります。



受賞者一覧

● 内閣総理大臣賞

■ 革新的金属材料「金属ガラス」を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発

井上 明久 東北大学金属材料研究所 所長、教授
若菜 和夫 並木精密宝石株式会社 法務グループ マネージャー
長坂 宏 長野計器株式会社 製造本部丸子電子機器工場AMセンサ技術部 次長

● 科学技術政策担当大臣賞

■ 「タンパク質の結晶化技術」の開発

高野 和文 大阪大学大学院工学研究科 助教授
森 勇介 大阪大学大学院工学研究科 助教授
安達 宏昭 株式会社創晶 代表取締役社長

■ 「SPECT機能画像解析パッケージ」の開発

飯田 秀博 国立循環器病センター研究所 放射線医学部長
中澤 真弓 日本メジフィジックス株式会社 製品企画第一部アシスタントマネージャー
林田 孝平 武田病院画像診断センター センター長
(元 国立循環器病センター 放射線診療部医長)

● 総務大臣賞

■ けいはんな情報通信オープンラボにおける研究開発の推進

井植 敏 けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会 理事長
秋山 喜久 社団法人関西経済連合会 会長
立石 義雄 財団法人関西文化学術研究都市推進機構 理事長

● 文部科学大臣賞

■ クイック水素ガス検知センサーの開発 ―シーズイノベーション型技術移転―

原田 修治 新潟大学工学部 教授
結城 洋司 株式会社新潟ティーエルオー 代表取締役社長
株式会社テクノリンク

■ 知的クラスター創成事業「浜松オプトロニクスクラスター」

石村 和清 財団法人浜松地域テクノポリス推進機構 理事長
川人 祥二 静岡大学電子工学研究所 教授
寺川 進 浜松医科大学光量子医学研究センター 教授



● 経済産業大臣賞

■ サルファーフリー軽油製造のための高機能新規脱硫触媒の開発

持田 勲 九州大学産学連携センター 特任教授
岡本 康昭 島根大学総合理工学部 教授
藤川 貴志 コスモ石油株式会社中央研究所 水素化精製グループ長

■ 「撮影速度100万コマ/秒の高速ビデオカメラ」の開発

江藤 剛治 近畿大学理工学部 教授
武藤 秀樹 リンク・リサーチ株式会社 代表取締役社長
近藤 泰志 株式会社島津製作所 分析計測事業部事業戦略室 新規事業開発グループ 課長

● 日本経済団体連合会会長賞

■ 産学アライアンスによる「環境に優しい有機系電子デバイス・材料」の開発

松重 和美 包括的産学融合アライアンス 有機系エレクトロニクス・
デバイス開発産学融合室室長、京都大学 副学長

■ 微量有害元素を高速分析可能な「高輝度エックス線分析顕微鏡」の開発

中澤 弘基 独立行政法人物質・材料研究機構 フェロー
細川 好則 株式会社エックスレイ プレシジョン 代表取締役社長
(元 株式会社堀場製作所 開発部長)
駒谷慎太郎 株式会社堀場製作所 科学システム統括部XGTプロジェクト
プロジェクトマネジャー

● 日本学術会議会長賞

■ 「インテリジェント触媒」の開発

西畑 保雄 独立行政法人日本原子力研究開発機構 副主任研究員
田中 裕久 ダイハツ工業株式会社 エグゼクティブ・テクニカル・エキスパート



内閣総理大臣賞

革新的金属材料「金属ガラス」を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発

● 受賞者

井上 明久

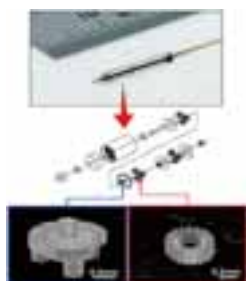
東北大学金属材料研究所 所長、教授

若菜 和夫

並木精密宝石株式会社 法務グループ マネージャー

長坂 宏

長野計器株式会社 製造本部丸子電子機器工場
AMセンサ技術部 次長



金属ガラス製超精密ギヤを組み込んだ
直径1.5mmの世界最小ギヤードモータ
(耐久性は従来の300倍以上)

● 受賞理由

金属ガラスの発見者である東北大学の井上教授により開発された独創的な金属ガラスの作製技術を基に、並木精密宝石株式会社や長野計器株式会社などの部材メーカーとの密接な産学連携体制の下で明確な出口部材を目指した研究開発を実施した。その成果として、世界で初めて実用的なバルク材料である金属ガラスをギヤードモータや圧力センサなどの工業製品へ応用することに成功した極めて優れた事例である。特に、いずれも従来の機械加工では不可能であった超小型・高精度・高強度機械部品の開発に成功したことで、今後金属ガラスを用いた高付加価値産業が大きく発展する端緒を開いた。

科学技術政策担当大臣賞

「タンパク質の結晶化技術」の開発

● 受賞者

高野 和文

大阪大学大学院工学研究科 助教授

森 勇介

大阪大学大学院工学研究科 助教授

安達 宏昭

株式会社創晶 代表取締役社長

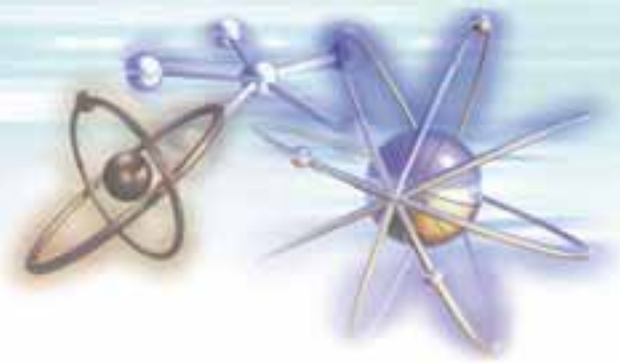


タンパク質結晶

本技術によって得られたタンパク質結晶と結晶加工装置

● 受賞理由

ポストゲノム時代で重要となるタンパク質構造解析に不可欠なタンパク質結晶化技術の開発において、大阪大学の高野助教授と森助教授の異分野連携の下、レーザー技術を活用した世界に類を見ない手法により、結晶化率・構造解析精度の飛躍的向上などブレイクスルーを達成した。本技術、装置を基に、安達氏によって創業事業への貢献を目指して大阪大学発ベンチャーの株式会社創晶が設立された。創晶はタンパク質結晶化の受託事業を開始し、これまでに製薬企業10社以上から受注を受けている。高い技術革新性、社会・経済への波及効果の大きさ、良質の大学発ベンチャーといった観点から、本技術開発に関する取組は優れた産学連携の事例と言える。



「SPECT機能画像解析パッケージ」の開発

● 受賞者

飯田 秀博

国立循環器病センター研究所 放射線医学部長

中澤 真弓

日本メジフィジックス株式会社

製品企画第一部アシスタントマネージャー

林田 孝平

武田病院画像診断センター センター長

(元 国立循環器病センター 放射線診療部医長)



QSPECTは従来法に比べて高いコントラストを提示、
真の放射能濃度分布を正確に再構成

● 受賞理由

SPECT（単光子コンピュータ断層撮影）から得られる画像の正確な再構成法の開発を行い、多くの病院に既設の装置を使って脳虚血重症度の画像診断実施を可能とした。国立循環器病センターと日本メジフィジックス株式会社が連携し、画像解析基盤技術の開発と、一連のプログラム群のパッケージ化、汎用OSで動作する解析システムを開発。機器メーカーへも呼びかけランダム化された多施設での臨床研究が可能になった。また、本システムは、脳血管バイパス術の妥当性評価に標準的な画像情報として利用され、外科治療の有効性確認に貢献した。今後、新規治療法や最適治療法の有効性評価、多施設評価に利用されることが期待される。

総務大臣賞

けいはんな情報通信オープンラボにおける研究開発の推進

● 受賞者

井植 敏

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会 理事長

秋山 喜久

社団法人関西経済連合会 会長

立石 義雄

財団法人関西文化学術研究都市推進機構 理事長



けいはんな情報通信オープンラボ
(関西地域におけるICT研究開発の産学官連携拠点)

● 受賞理由

関西地域における情報通信技術研究開発の産学官連携拠点として、多様なネットワークロボットを連動させ小型車両ロボットの公道走行実験を実施するなど、活発な活動を展開している。また、世界初のGMPLSキャリア間接続広域総合実験を実施するとともに、その成果の国際標準化に対して多大な貢献をした。今後、将来の情報通信ネットワークの基幹網基礎技術に関する研究開発及び標準化に向けた活動を本拠点において実施することにより、ネットワーク機器のみならず、ネットワークを活用した情報通信サービス産業等の市場への貢献やブロードバンドネットワーク及びネットワークロボットの実現による生活の向上等への貢献が期待される。